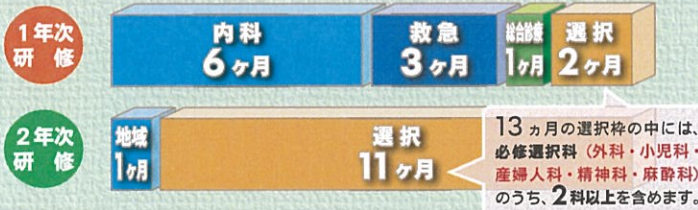
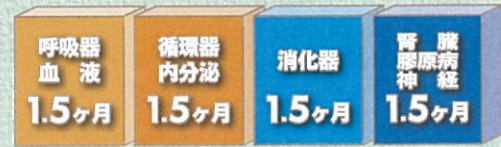


## 臨床研修プログラムのあらし

### 山梨県立中央病院 総合研修プログラム



#### 一年次内科ローテーション（必修）



内科8診療科を、4グループに分けて、1.5ヶ月ごとにローテートします。

#### プログラムの基本的な考え方

- ・一つの研修プログラムで、様々な研修のニーズに応えます。
- ・従来通り、医師としての基礎を固めるスーパーローテーションを推奨します。
- ・その一方で、早期からの専攻科研修の導入にも、柔軟に対応します。

#### 必修科目について

- ・1年次内科研修は、内科を4グループに分けてローテートします。内科系各診療科の全てを研修します。
- ・救命救急センターにて3次救急を研修します。また、当直にて上級医の指導のもとに1次・2次救急を研修します。（救急3ヶ月には2週間の精神科基礎研修を含みます。）
- ・地域医療研修は、11の地域医療拠点病院より選択します。

#### 選択必修科目について

- ・選択科としては、以下の選択必修科を2科以上含むことが必要です。  
外科、小児科、産婦人科、精神科、麻酔科
- ・選択期間は特に決めていませんが、基本的には1ヶ月が最低ラインです。
- ・外科研修は少なくとも2ヶ月以上とします。
- ・精神科研修は2年次に選択します。研修は山梨県立北病院で行います。

#### 選択科目について

- ・大半の選択科研修は山梨県立中央病院で実施しますが、地域保健とリハビリテーション・予防医学は他施設での研修となります。
- ・選択科としての内科研修については、内科系の各診療科を個々に選択することができますが、内科病棟単位に複数の診療科を選択することや、再度内科全般を内部ローテートすることも可能です。



研修医オリエンテーションの様子

### 山梨県立中央病院 新専門医制度研修プログラム

1. 山梨県立中央病院内科専門研修プログラム (定員5名)
2. 山梨県立中央病院救急科専門研修プログラム (定員5名)
3. 山梨県立中央病院総合診療専門医研修プログラム (定員2名)
4. 山梨県立中央病院整形外科地域専門研修プログラム (定員2名)
5. 山梨県立中央病院外科専門研修プログラム (案) (定員5名)

現在4つの基幹プログラムがありますが、さらに外科専門研修プログラムを申請中です。多数の関連病院と連携し、充実した専門研修ができるように配慮しています。また、当院の各診療科は、他施設の専門研修プログラムにも積極的に協力しています。【内科(7プログラム)、救急科(7)、放射線科(3)、整形外科(2)、皮膚科(2)、泌尿器科(2)、外科、産婦人科、小児科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、形成外科、眼科、耳鼻咽喉科、麻酔科、病理診断科(各1)】

本来新専門医制度は、各専門領域の標準的な臨床能力の取得を目指すものです。その意味でも、専門医療を展開する市中病院は専門研修に打って付けの環境であると考えています。

### 山梨県立北病院 新後期臨床研修プログラム

山梨県立北病院のプログラムでは、優れた精神科医の養成を目的としており、精神科臨床研修に加え、大学病院に劣らない学術的な活動を通して、高い専門性を身につけることも目指しています。

1年次の前半は指導医によるマンツーマンの指導を行います。その後、精神科の第一線の診療に従事しますが、回診、病棟ミーティング、さらに症例報告会などを整備しており、手厚い指導体制の下、安心して実際の臨床を経験してもらうことができます。1年次の間に、精神保健指定医取得に必要な症例すべてを経験することができ、指定医レポートの指導も綿密に行っています。ちなみに、これまで当院の精神保健指定医合格率は100%です。

また、約20のクルスを受け、精神科臨床に必要な知識を身につけてもらい、症例検討会、文献抄読会が定期的開催され、高度な知識も学習することができます。さらに、専門医研修中にも臨床研究を行い、学会発表、論文投稿などが行えるように指導します。

